

見えないものの 見える化（2）

兵庫県立芦屋特別支援学校

平成30年10月17日(水)

地支セン通信 No. 7

「コミック会話法」

会話の中で、相手が今何を考えているのか想像したことがありますか？
「いいよ。」って言うてくれたけど、なんか嫌そうな顔しているな～と感じたことはありませんか？

相手の気持ちを感じ取ることができるとトラブルは避けられますが、見えないものを想像することが苦手な子に、相手の気持ちを考えなさいということは、かなり高度な対人関係スキルです。相手がどのように考えているのかを、その子に理解できる形で示してあげる一工夫が必要です。

そんな時の「見える化」アイテムは…？



棒人間などに実際のセリフを書いたあと、見えなかった相手の気持ちを書き込んで示したものです。相手の気持ちや頭の中が「見える化」し、見えて残る情報として入りやすくなります。

毎晩、子どもにドッジボールに誘われ、時間がない時に断ると子どもは怒ってしまいます。毎回その繰り返しなので、良い方法はないかな…と悩んでいたところ、このコミック会話法を使ってみました。
コミック会話法を使用せずに、「明日やろう。」と言葉で説明しても納得できなかった子が、図を描いている時に不思議そうにのぞき込み見していました。図を描き終わり説明をすると、相手の気持ちが分かったのか「明日30回やろう！」と自分から言うことができました。

さらに、この後…

子どもは、描いた絵を何度も何度も、ニヤニヤしながら見返していました。その姿を見て、よっぽど嬉しくて分かりやすかったのだと実感できました。